

ボランティアだより



《ボランティア連絡協議会総会》

令和元年5月11日



令和となり始めての瀬戸市ボランティア連絡協議会総会が、青山副市長（市長代理）はじめ来賓の皆様をお迎えして開催されました。挨拶ののち第1部の審議に入り、各議案を提出・承認されました。第2部では、陶生病院の看護師による「健康寿命をのぼそう～今すぐ始める体操について～」の講演がありました。実演をまじえながら、

健康で長く生きるための体操を行いました。多くの方が毎日何らかの運動を継続して行っているということで、講師からお褒めの言葉を頂きました。転倒による骨折などを防ぐための体づくりが必要とのこと。下肢の筋力を鍛え元気に年を重ねていきたいと思えます。 M・K

《ボランティアセンターの養成講座》

講座名	日程	時間	場所	内容
災害ボランティアコーディネーター養成講座	6月23日(日)	午前9時30分 ～午後4時 ※受付は 午前9時から	5階大集会室	・災害ボランティアセンターの役割について ・災害ボランティアコーディネーターの役割について

ほのぼのボランティアサロン (やすらぎ会館)

時間に余裕ができたから何かボランティア活動してみたい方など

お気軽にご参加ください。



日程	場所	体験内容	協力ボランティア
7月20日(土)	5階大集会室	こども福祉体験	福祉ボランティアなど
8月24日(土)		きょうばん	

編集委員 飛田・小森・高島・丸岡です。

ボランティア活動の中で、紹介したい事等、何でも結構です。編集委員までお知らせください。お待ちしております。



編集 ボラだより編集クラブ

発行 瀬戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
瀬戸市川端町1丁目31番地
TEL84-2011・FAX85-2275
Eメール：vc@seto-shakyo.or.jp

《瀬戸・尾張旭ボランティア交流会に参加して》

平成30年度(第18回)の交流会が3月2日(土)に渋川福祉センターで開催されました。今回は尾張旭市が当番でした。今回のテーマは「つなげよう～ボランティア～」参加者は瀬戸市が会長以下30名参加、尾張旭市が59名でした。午後1時ちょうどに始まりました。オープニングはミュージックベル演奏で、「さくらさくら、上を向いて歩こう、世界に一つだけの花」の3曲が演奏されました。

交流会は11のグループに分かれました。1つのグループは7～8人で瀬戸市の人と尾張旭市の人の意見が交換しやすいように座席がくじで決められていました。私は6グループで、尾張旭市の方が4人、瀬戸市の参加者が2人でした。話題にしたのは、「各ボランティアにどうやったら入会してもらえるか」でした。「いろいろな方法を試みているが難しい」「長続きしない」などの意見が出ました。話合いの時間が終了し、全体発表では各グループから話合いの様子ของ報告がありました。その中で「バスで隣り合わせになった方に、ボランティアにお誘いし、体験にまで至った」という話は印象的でした。

フィナーレは全員で、ズンドコ体操を行いました。次回は瀬戸市での再会を約束して午後3時30分に終了となりました。他のボランティアの方との交流は勉強になりよい会でした。

ひょうきん座 柴田鐘三



《新規登録グループ》

深川大正琴 (会員：5名)

大正琴の演奏を通じて皆さんと交流します。



《退会グループ》

- ① マザースクール品野
- ② ハットマジックせと
- ③ ひまわり歌謡会
- ④ アクティブシニアネット
- ⑤ せと de homestay